

東筑會報

TOCHIKU
KAIHO
2014.10.1
(平成 26 年)

No. 35



人生 水の如し



東筑會會長

高 山 和 幸

(56期)

東筑會の皆様には日頃から東筑會のために、ご協力ご支援を賜りまして厚くお礼を申し上げます。

平成26年度東筑會總会ならびに懇親会には、全国から遠路お越しの方も多く盛大に行われました。一年に一度の機会ではありますが、大いに交流を深められたことと存じます。今後とも多数の皆様のご出席を祈念いたします。当番期84期の皆様には諸準備ならびに運営のご苦労に対しまして敬意と感謝を申し上げます。

来年度の当番期85期の皆様には諸準備等よろしくお願い申し上げます。

一方、東筑會は本年度の事業計画に基づき会の運営を推進しております。ご協力ご支援のほどよろしくお願い申しあげます。

さて、今年は「軍師官兵衛」で沸いています。「温故知新」歴史に学ぶことは意義あることと思います。黒田官兵衛は44歳で隠居、その後剃髪し、「如水」と号しています。「如水」といえば、中国の戦国時代の思想家の老子は「上善は水の如し、水は善く万物を利して争わず衆人の悪む所に居る」と教えています。「上善」とは、最上の善、理想的な生き方を

いいます。「上善如水」即ち、人の生き方は水のあり方に学べと教えています。

「水」は、一つには、丸い器に入れると、丸い形になり、いかようにも形を変えていく柔軟性をもつ。二つには、生物に大きく恩恵を与えておきながら、低い所、低い所へと流れしていく、謙虚さがある。三つには、急流ともなれば、固い岩石をも打ち碎いてしまう力を秘めている。「理想的な生き方とは自分の主体性をもち、柔軟であれ、謙虚であれ」と教えています。理想的な生き方は、2千年の時を経た今も変わりませんが、さて最近の世相をみるにつけ気になることばかりです。

母校東筑では今春112期生354名が卒業し、東筑會に入会しました。今後一層の努力と精進を重ね、眞の実力を發揮されんことを期待しますと激励を申し上げました。東筑會は、若い同窓会の大好きな支え、バックアップに努めていきたいと思います。

最後になりましたが、母校東筑の益々の発展と東筑會の皆様のご健勝を祈念申し上げます。

～本気の文武両道～



学校長 花岡俊彦

東筑会会員の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申上げます。また、日頃より皆様の母校東筑高校にご支援ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。私はこの春、柴田晴夫前校長の後任として鞍手高校より赴任しました、花岡俊彦でございます。東筑高校に勤務するのは初めての経験ですが、第32代校長として精一杯務めますので、よろしくご指導いただきますようお願い申し上げます。

今年はスーパー・サイエンス・ハイスクール事業も2年目を迎え、さらに内容を深めていく段階となりました。この事業を通して国際化、グローバル化の進む社会のなかで、リーダーシップを發揮し次世代を牽引する人材を東筑高校から輩出すべく取り組んでまいります。また、今年はじめて実施した「ようこそ先輩」講演会におきましては、本校先輩諸氏にご講演いただき、感謝の念に堪えません。現役の東筑生にとっては、自らの進路を切り拓いていく上で大変多くの示唆を得ることができました。その講演会当日には、東筑会総会にお招きいただき、永年の伝統と文化に支えられた東筑高校の絆のを感じることができました。東筑会の皆様の、母校に寄せる熱い想いに応えていかなければと、気持ちを新たにした次第です。

今年はスーパー・サイエンス・ハイスクール事業も2年目を迎え、さらに内容を深めていく段階となりました。この事業を通して国際化、グローバル化の進む社会のなかで、リーダーシップを発揮し次世代を牽引する人材を東筑高校から輩出すべく取り組んでまいります。また、今年はじめて実施した「ようこそ先輩」講演会におきましては、本校先輩諸氏にご講演いただき、感謝の念に堪えません。現役の東筑生にとっては、自らの進路を切り拓いていく上で大変多くの示唆を得ることができました。その講演会当日には、東筑会総会にお招きいただき、永年の伝統と文化に支えられた東筑高校の絆のを感じることができました。東筑会の皆様の、母校に寄せる熱い想いに応えていかなければと、気持ちを新たにした次第です。

お色直し



業も2年目を迎える、さらに内容を深めていく段階となりました。この事業を通して国際化、グローバル化の進む社会のなかで、リーダーシップを発揮し次世代を牽引する人材を東筑高校から輩出すべく取り組んでまいります。また、今年はじめて実施した「ようこそ先輩」講演会におきましては、本校先輩諸氏にご講演いただき、感謝の念に堪えません。現役の東筑生にとっては、自らの進路を切り拓いていく上で大変多くの示唆を得ることができました。その講演会当日には、東筑会総会にお招きいただき、永年の伝統と文化に支えられた東筑高校の絆のを感じることができました。東筑会の皆様の、母校に寄せる熱い想いに応えていかなければと、気持ちを新たにした次第です。

今年はスーパー・サイエンス・ハイスクール事業も2年目を迎え、さらに内容を深めていく段階となりました。この事業を通して国際化、グローバル化の進む社会のなかで、リーダーシップを発揮し次世代を牽引する人材を東筑高校から輩出すべく取り組んでまいります。また、今年はじめて実施した「ようこそ先輩」講演会におきましては、本校先輩諸氏にご講演いただき、感謝の念に堪えません。現役の東筑生にとっては、自らの進路を切り拓いていく上で大変多くの示唆を得ることができました。その講演会当日には、東筑会総会にお招きいただき、永年の伝統と文化に支えられた東筑高校の絆のを感じることができました。東筑会の皆様の、母校に寄せる熱い想いに応えていかなければと、気持ちを新たにした次第です。

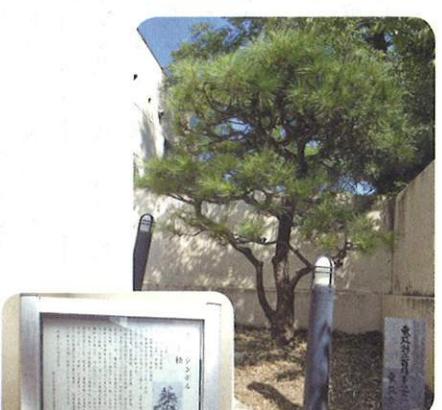
業も2年目を迎える、さらに内容を深めていく段階となりました。この事業を通して国際化、グローバル化の進む社会のなかで、リーダーシップを発揮し次世代を牽引する人材を東筑高校から輩出すべく取り組んでまいります。また、今年はじめて実施した「ようこそ先輩」講演会におきましては、本校先輩諸氏にご講演いただき、感謝の念に堪えません。現役の東筑生にとっては、自らの進路を切り拓いていく上で大変多くの示唆を得ることができました。その講演会当日には、東筑会総会にお招きいただき、永年の伝統と文化に支えられた東筑高校の絆のを感じることができました。東筑会の皆様の、母校に寄せる熱い想いに応えていかなければと、気持ちを新たにした次第です。

東筑会会員の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申上げます。また、日頃より皆様の母校東筑高校にご支援ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、早いもので、今年度も1学期が終了しました。生徒諸君は「文武両道」「質実剛健」の校是のもと、勉強に部活動に学校行事にと一生懸命取り組んでいます。1年生は自助と共助の体験学習を終え、東筑生としての自覚を身に付けてきました。2年生は、3年生と一緒に文化祭の運営等に携わり、また1学期の終了と同時に新しい生徒会が発足して、学校の中心として活躍を始めました。3年生は、様々な行事においてリーダーとして下級生を引っ張り、高校最後のクラスマッチでは心を一つにしてクラスの絆を築き上げました。現在は、それぞれの進路実現に向けて日々邁進しています。

今はなき東筑のシンボル一本松。かつての位置を示した指標石碑と2代目として、創立百周年を記念して平成10年に植樹した松が百年館の入口近くにあります。

御存じですか？



約より西 72m
北緯 33度 51分
東緯 130度 43分

遠賀郡芦屋町在住の人形作家、田中伸幸さん（63期）の作品「北九州市誕生」が、個展のため本校を離れていましたが、製作者本人の手でお色直しをされ、柴田晴夫前校長に手渡されました。

この作品は、田中伸幸さんが本校在学中に製作した処女作で、北九州市の誕生を記念して、彼に北九州市々章、紋章に東筑高校々章を記したもので、北九州市の誕生を記念して、被に北九州市々章、紋章に東筑高校々章を記したもので、北九州市の誕生を記念して、被に北九州市々章、紋章に東筑高校々章を記します。

母校正面玄関奥のガラスケース内に展示しておりますので、ご来校の折には是非ご覧いただければ幸いに存じます。

一般財団法人 東筑奨学会 支援のお願い

平成25年度寄付者（敬称略）

茅切 智聰（92期）（2回）

黒崎整形外科

安高三千代（58期）

山崎八江子（51期）

ミネヒロユキ

高崎徳彦・修二（68・72期）

柴田 喬夫（70期）

PTA・母の会

ゴルフ大会時

東筑会総会時

広島東筑会

東海東筑会

岡垣東筑会

宗像東筑会

フレンドリー鞍手町東筑会

水巻東筑会

ふくおか東筑会

遠賀東筑会

関西東筑会

中間東筑会

芦屋東筑会

北九州洞海東筑会

ひのくに東筑会

東筑50期会

東筑83期会

卒業おめでとう（氏名不詳）

卒業生（氏名不詳）

寄付金総額1,727千円（27件）

※奨学基金へのご寄付は、

左記へ振込みくださいます。

ようお願い申し上げます。

主な寄付金の内容は、①香典

返し②賀寿③結婚周年記念

④同期懇親会の残余金⑤地域

東筑会（総会時）等です。

西日本シティ銀行	普通預金	（財）東筑奨学会
1735106	1321864	（財）東筑奨学会



小野晃理事長より奨学金の交付式

財団法人「東筑学舎」の寄贈

財団法人東筑学舎（前身「遠賀郡寄宿舎」）は、遠賀郡遠賀町

出身の添田寿一氏（1864～1929）が同郷の学生のために

私財を投じて、明治35年東京市小石川区（文京区）に創立されま

した。

以後、敷地が市区改正にかかりたため、昭和12年2月11日淀橋

区扇町戸山原（新宿区）に新築移転。昭和33年9月25日再度の区

画整理にかかり保谷市柳沢（現西東京市）に移転し、福岡県内の

多くの学生達が巣立ちました。

しかし、平成に入り20年余事実上入寮生がゼロの状態が続き、

事業の執行が不可能になりました。法人の新制度への移行を機に

平成25年10月19日（財）東筑学舎の理事会が開催され、平成25年

11月30日を以て当法人を解散し、残余財産を財団法人東筑奨学会

に寄付することが決議されました。

平成26年2月3日、理事役員、関係者の多大なご尽力により現

地東筑学舎内で財団法人東筑奨学会への寄付調印式が行われま

した。（土地150.8坪 建物2階建 延112.8坪）

財団法人東筑奨学会は、寄付物件の管理運営が困難であるため

売却して、公益財団法人に移行することを目指し、これを基に奨

学会運営の更なる充実を図り、教育活動等の援助を行つて参ります。

なお、売却資金は、冠「添田寿一基金」として公益目的事業資

金と致します。

☆添田寿一氏 略歴☆

1864（元和1）福岡県遠賀郡島門村老良（現遠賀町老良）に

生れる。

1874（明治7）父新三郎は「無欲」慈悲心富み、そのため家

産が傾いたので、寿一を伴つて「諸国行脚」

の旅に出る。

1880（明治13）大阪専門学校入学。

1882（明治15）東京帝國大学文学部経済科入学。

1898（明治31）大蔵次官に任命される。

1902（明治35）日本興業銀行總裁。

1925（大正14）勅撰により、貴族院議員。

1929（昭和4）7月4日病臥し、1ヶ月で長逝した。

2014（平成26）5月3日生誕祭（150年）記念式典挙行。

平成26年度 総会報告

6月7日(土)、東筑高等学校同窓会が北九州八幡ロイヤルホテルにて開催されました。

15時から万葉の間にて総会が開かれました。司会の開会のことばに続き、高山会長、花岡校長のご挨拶。そして来賓の三原北九州市議会議長から祝辞が述べられました。その後、高山会長を議長に選出して議案の審議に入りました。

平成25年度の事業報告、収支決算報告、監査報告がなされ異議なく承認されました。平成26年度事業計画案、収支予算案の提示がなされました。こちらも異議なく承認されました。

この後、各委員会の報告で三宅正輝財務委員長、日高教夫組織委員長、青野元昭広報委員長から今年度の方針がのべられました。

次に16時からロイヤルホールにて当番期84期のお世話のもと、懇親会が催されました。「いざ集わん!心の一本松へ」のテーマのもと、約1,200名の同窓生が日本各地より集合、久々の再会をよろこび旧交をあたため、懇親を深めました。

予定の2時間は、またたくまにすぎ18時来年の再会を約し、閉会のことばで会場を後にしました。

当番期の皆様、ありがとうございました。

平成26年度事業計画

会則第二条(本会の目的)達成のため、平成26年度は左記の事業を行います。

- ①母校発展のため、教職員・生徒・父母との密接な連携・国内研修の支援・卒業生による講演会の講師協力・図書館の充実
- ②各地区東筑会との連携強化
- ③組織網の強化(組織委員会)
- ④年会費の納入促進(財務委員会)
- ⑤東筑会報(第35号)の発行(会報委員会)
- ⑥東筑会館史料展示室の整備

平成26年度 一般会計予算書

〔収入〕		
費目	予算	備考
繰越金	2,315,688	
入会金	5,332,800	4,800 × 1,111人 (113・114・115期)
会費	3,000,000	2,000 × 1,500人
名簿収入	0	
雑収入	10,000	預金利息他
計	10,658,488	

〔支出〕

費目	予算	備考
総会費	1,000,000	当番期(85期)へ
会議費	150,000	議案書、各種会議案内状等
記念品費	200,000	卒業証書入れ(アルバム式)
会報費	3,300,000	会報、封筒、振込用紙印刷、会報郵送料
慶弔費	450,000	各地区東筑会、学校行事祝儀等
旅費交通費	300,000	各地区東筑会総会出席
会館管理費	80,000	休祝日、時間外手当
事務局費	950,000	電話・電気料、通信費、プロバイダー料、コピー機リース料、事務室使用料、ホームページサーバー料
振替手数料	200,000	会費振込手数料
賃金	1,650,000	事務局員
教育振興費	2,100,000	母校教育振興・定期野球大会・生徒派遣補助金・図書館の充実
基本金	0	基本会計へ
予備費	278,488	
計	10,658,488	

平成25年度 東筑会会計監査報告

東筑会会长 高山和幸 殿

このことについて、下記のとおり報告します。

記

平成25年度「東筑会一般会計」「東筑会基本会計」について、出納簿・証拠書類等を精査、照合した結果、適正に処理されていることを認めます。

平成26年5月13日

会計監査 矢野 定延[㊞]
会計監査 井土 光徳[㊞]

平成25年度 一般会計決算書

〔収入〕		
費目	決算	備考
繰越金	775,123	4,800 × 1,104人(112・113・114期)
入会金	5,245,200	休転学▲54,000
会費	6,760,500	2,000 × 3,355人・4,000 × 12人
名簿収入	1,846,800	2,500 × 1人
寄付金	60,000	4,200 × 354人(112期生)
雑収入	28,911	5,000 × 72人
計	14,716,534	上総東筑会より10,000 柴田晴夫氏尊父香典返し50,000 22年度版名簿、預金利息他

〔支出〕

費目	決算	備考
総会費	1,000,000	当番期(84期)へ
会議費	130,125	議案書、各種会議案内状等
記念品費	194,880	卒業証書入れ(アルバム式)
会報費	3,181,852	会報、封筒、振込用紙印刷、会報郵送料
慶弔費	440,000	各地区東筑会、学校行事祝儀等
旅費交通費	280,940	各地区東筑会総会出席
会館管理費	65,800	休祝日、時間外手当
事務局費	985,184	電話・電気料、通信費、プロバイダー料、コピー機リース料、事務室使用料、ホームページサーバー料、コピー機トナー料費振込手数料
振替手数料	369,264	事務局員
賃金	1,650,000	母校教育振興・定期野球大会・生徒派遣補助金・図書館の充実
教育振興費	2,102,801	基本会計へ
基本金	2,000,000	
予備費	0	
計	12,400,846	
差し引き残高	2,315,688	次年度へ繰越

平成25年度 基本金会計決算書

〔収入〕		
費目	金額	備考
繰越金	20,606,931	
繰入金	2,000,000	一般会計より
雑収入	3,507	3,822(預金利息) - 315(残高証明書)
計	22,610,438	次年度へ繰越

当番期を終えて

去る6月7日の同窓会総会・懇親会におきましては、東筑高等学校を始め、東筑会、地域東筑会など、多くの皆様のお力添えを賜り心より感謝申し上げます。また、これまで4月の消費税増税に伴い、これまで4,000円であつた懇親会会費を、5,000円へと値上げしました。にも関わらず、多数の同窓生の皆様にご参加頂き、誠にありがとうございました。

当番期を務められたこの1年間は、我々84期にとって、とても内容の濃い1年でした。東筑卒であるのに、母校について知らないことがあまりに多く、当番期活動を通じて改めて東筑の歴史の深さを知りました。

去る6月7日に84期の先輩方が伝統の「襟」を受取りました。懇親会で目の当たりにした先輩方のチームワーク・細かい部分まで配慮の行き届いたお世話振り、さらには歴史の重みを掲げた「応援団旗」と迫力の校歌齊唱を拝見し、深く感動する一方で、来年への強烈な不安を抱きました。

近隣の県立高校同窓会も同様に「当番期」が一生に一度巡つて来るようですが、その年齢は様々で当番期を迎える中、本校は46歳の中でも脂ののった時期（本当に脂もついています）でございます。

一生に一度の「当番期活動」を聞いておりまます。20歳代で廻つてくる学年もある中、本校は46歳で当番期を迎えます。まさに人生のなかで、人生の中でも脂ののった時期（本当に脂もついています）でございます。

さる5月9日（金）に、宮若市の『ザ・クラシックゴルフ俱楽部』にて、第31回東筑会ゴルフ大会を開催いたしました。

当日は天候にも恵まれ、ゴルフ日和の中、44期から96期までの総勢245名が参加され、大変盛況なゴルフ大会となりました。

ハンディキャップは、ザ・クラシックゴルフ俱楽部のダブルペリア方式で行いました。

ここに、大会成績を発表させていただきます。

入賞された皆さまには、心よりお祝い申し上げます。

以下が、最終成績となります。
(敬称略)

当番期を迎えて

当番期を務められたこの1年間は、我々84期にとって、とても内容の濃い1年でした。東筑卒であるのに、母校について知らないことがあまりに多く、当番期活動を通じて改めて東筑の歴史の深さを知りました。

当番期を務められたこの1年間は、我々84期にとって、とても内容の濃い1年でした。東筑卒であるのに、母校について知らないことがあまりに多く、当番期活動を通じて改めて東筑の歴史の深さを知りました。

当番期を終えた今、これから先を担つて行く後輩達の力に少しでもなるよう、東筑会に貢献すべく努力して行くつもりでございました。これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

当番期を終えた今、これから先を担つて行く後輩達の力に少しでもなるよう、東筑会に貢献すべく努力して行くつもりでございました。これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

84期会長 泉 裕司

胸に刻みし 東筑魂
（よしや幾歳過ぎぬとも

東筑魂はひとつ
まつ友あれば

「ひとつまつ（一本松）」に集う

ように、来年の6月6日にひとつでも多くの再会とご縁が出来ます

ことを祈念した我々のテーマです。

最後になりましたが、東筑会の益々のご発展と、皆様方のご健康とご多幸を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。

84期会長 米田喜久志

我々84期ですが、「一本松の精神」を引き継ぎ、「東筑魂」を遺憾なく發揮することが出来たのか?いざか疑問もありますが、15歳から18歳の最も多感な3年間と共に、我々の中にある「愛校心」にも、火を点けて頂いた気がします。

また5月に行われた東筑ゴルフ大会では先輩方のハツラツとして力強いプレーを目の当たりにして、自分達も、もつとパワフルに行動して、「何としても同窓会を成功させよう」という気持ちが強まりました。

「よきかな東筑」のテーマのもと、約30年の時を経て集結した

◆ 第31回 東筑会ゴルフ大会成績 ◆

団体の部

優勝	65期	2位	62期
3位	57期		

個人の部

● グランドシニアの部【~60期】

優勝	太田 善胤 (52期)
2位	下東 益也 (57期)
3位	西谷明治郎 (60期)

● シニアの部【61期~70期】

優勝	岩崎 孝徳 (65期)
2位	伊藤 二郎 (69期)
3位	深川 吉勝 (61期)

● 一般の部【71期~】

優勝	小川 政満 (74期)
2位	善明 正光 (72期)
3位	高原 博樹 (78期)

● レディースの部

優勝	菊次 幸代 (64期)
2位	中沢 陽子 (69期)
3位	小川三穂子 (58期)

皆さまのおかげで、けが人・体調不良者もなく、無事にゴルフ大会を終えましたことを報告させていただきます。

ありがとうございました。

84期東筑会ゴルフ委員長 井上 二郎



海外ジニアス研修について

福岡県立東筑高等学校 主幹教諭 板木俊一

昨年度、本校において「世界を代表する先進的な研究機関や大学、企業での研修や実習を通して、最先端科学技術に対する興味・関心を喚起する。また、英語環境に身を置くことにより、国際語としての英語の必要性を認識させる。」ことを目的とし、第1回海外ジニアス研修を実施しました。1年生5名、2年生15名の参加で、以下の日程で行われました。

3月8日(土) 学校 → 福岡空港 → 成田空港
 3月9日(日) 成田空港 → ボストン…ボストン現地研修
 3月10日(月) マサチューセッツ工科大学(MIT)にて特別講義・授業聴講
 3月11日(火) ハーバード大学特別講演…ボストン → シアトル
 3月12日(水) 高校訪問(レイクワシントンインターナショナル コミュニティー スクール／ケネディー カソリックハイスクール)
 マイクロソフト本社研修(特別講義受講・発表および議論)

3月13日(木) ボーイング社特別見学
 3月14日(金) シアトル → サンディエゴ
 3月15日(土) サンディエゴ → 成田空港 → 福岡空港 → 学校

8日間の研修を通して、最先端の研究を行っている海外の大学と会社において、複数の研究者から講義を聞くことができました。また、生徒による発表を行い、議論することができ、多くの知識と新しい認識を獲得できたと思われます。生徒はあらかじめ「エネルギー」または「教育」について自らテーマを設定し、グループで考え、この2点の課題について今後どのように解決すべきか、意見を構築し提言しました。大学教員の協力を得て行つた事前指導により、生徒は自信をもつて自己の考えを述べることができ、活発なディスカッションを行うことができました。この経験により、生徒は課題解決における手法を獲得し、知的好奇心が刺激されて意欲が高まつたと思われます。以下に、参加した生徒の感想を抜粋してご紹介します。

★ マサチューセッツ工科大学

マサチューセッツ工科大学では、webでwebの研究をしている客員研究員の山田宏樹さんの話をうかがうことができました。山田さんの話聞いてまず感じたのは、「あきらめないことが夢を実現する近道」ということでした。山田さんのいるw3cは、webの発展を促進させるため、複雑になりすぎたwebの標準化をしています。具体的に紹介すると、プログラミング言語であるhtmlを開発しています。最近では、とても便利なhtml5というものが開発されました。一番印象に残っているのがhtml5を使ってwebと物をつなぐという考え方「web of things」でした。最初は情報と情報をつなぐために生まれたwebは現在、エアコンとスマートフォンをつなぎだり、テレビとインターネットをつなぎだりと、モ

ノを情報とつなげることが出来るようになっています。この経験を生かして、私は私の夢である、人の役に立つ仕事が出来たらいいなと思っています。

★ ハーバード大学

私たちハーバード大学の研究所でマラリアの薬について研究している加藤信高先生の講義を聞いた。マラリアとはマラリア原虫による感染症で、蚊に刺されると感染する。加藤先生は、そのマラリアにかかる際の薬の開発をしている。マラリアに限らず薬の開発は、1. 病気の確認、2. 標的的に効果のある調合薬の確認、3. 分子の解説の確認、4. 最も効果的な分子の解説、5. 動物実験、6. 臨床実験の流れで行われるという。また、先生は研究者としてのあるべき姿についての話をした。研究者、エンジニアに必要なものは、好奇心、楽観主義、斬新さ、協調性、正直、問題解決力、論理的な考え方、そして、懸命に働くものであるという。正直であることが大切なのは、研修の直後のSATAP細胞のニュースで痛感した。そして失敗を恐れないこと、どんな問題にも対処できるように広く深い知識を身につけることが大事である。

今回、研究を行っている真っ最中の人に、話を聞かせていただける機会があり、本当に良かった。私も自分がすべきことを誠実に、一生懸命やっていきたいと思う。

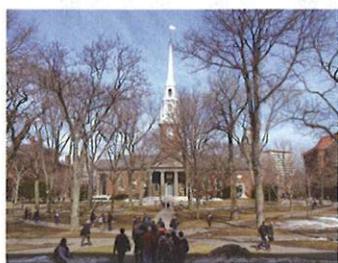
★ マイクロソフト本社

しばらくhigh-way(高速道路)を走っていると、急にバス内から見る景色が変わった。整備された道路、脇に連なる木々、統一感のある建物……それがまさにマイクロソフト本社だったのだ。初めて見た時には、一つの街かと思っていたそれは、広さ14,991,534平方フィート、約3万人の人が勤務する会社である。その広さから「キャンパス」と呼ばれるマイクロソフト本社には、テニス場やサッカー場、野球場まであり、職員の方の体と心をリフレッシュさせている。マイクロソフト本社では、「個人ごとに集中できる時間、能力が発揮できる時間が異なる」という考え方のもと、勤務時間はほとんどの社員が自由になっている。こうした企業体系は、日本ではほとんど見られない。また、中国やインドの社員は3,000人以上というのに対して、何と日本人はたったの350人前後。

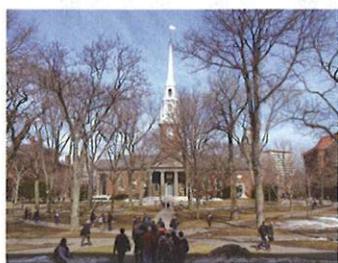
日本人は、世界が「グローバル化」しているという現状を念頭に置き、もっと海外に出ていくべきであると思つた。アメリカ人の社員の方とはお互い率直に意見交換でき、有意な時間を過ごすことができた。



マサチューセッツ工科大学



マイクロソフト社



ハーバード大学

夏を振り返つて

野球部監督 山部和範（92期）



今年の夏は、期待に胸が膨らむ夏でした。特に、3回戦の小倉高校戦と5回戦の東福岡高校戦での勝利は格別でした。両校ともシード校であり、優勝候補の一角と評されていました。チームでしたので、我々にとつて大きな自信と喜びを与えてくれる勝利でした。結果、ベスト4という結果に終わりましたが、大会中も日々選手が成長し、頼もしくなつていく様子を見て、高校生の無限の可能性を実感することができました。また、暑い中にも関わらず、本当に多くの同窓生に応援をしていただきました。誠に有難うございました。

福岡県は今、群雄割拠の状態です。どのチームにも甲子園出場のチャンスがあります。言い換えると、どのチームに勝つても不思議ではないし、どのチームに負けても不思議ではないということになります。その中で甲子園への切符を掴むためには、目の前の相手や目の前の勝敗に左右されることがなく、自分たちの野球すなわち「東筑野球」をどれだけ貫くことができるかが重要だと思いません。今年はベスト4、3年前は準優勝でした。あと一歩、もう一歩、「東筑野球」という確かな一步を踏み出して甲子園に戻ります。今後とも応援宜しくお願ひいたします。



全九州大会に出場した山本と村上



全国大会1回戦、果敢に攻める村上

村上大陸（二島中出身）ベスト16

平成26年度全国高等学校剣道大会男子個人戦

剣道部監督 富永敏郎（72期）

8月1日～4日、神奈川県小田原市小田原アリーナで行われた平成26年度全国高等学校剣道大会に出場しました。一回戦、延長戦30分に及ぶ戦いの末、勝利し、その後四回戦まで勝ち進みました。四回戦では、優勝した中根選手（茨城県・水戸葵陵高校）に得意の引きメンを打たれ敗退しました。中根選手とは、中学校時代の全九州大会で対戦しており、リベンジを期しての戦いででした。残念な結果でしたが、ベスト16まで勝ち進み、すべてを出し切ったと満足しております。

全国大会出場に際して、多くの剣道部の先輩方に応援していただき誠に有難うございました。厚くお礼申し上げます。

尚、全九州大会の結果報告もさせていただきます。村上大陸（県大会2位）、山本陽介（県大会4位）の2名が出場しました。九州大会に2名出場も快挙だと思います。村上はベスト8、山本一回戦という結果でした。

全国大会男子個人戦対戦結果

一回戦	村上	メン一	中山	（神奈川県・鎌倉学園）
二回戦	村上	コテ一	嶧田	（山口県・西京）
三回戦	村上	メン一	野間	（大阪府・東海大仰星）
四回戦	村上	一メン	中根	（茨城県・水戸葵陵）

北九州マラソンに50年の想いを込めて

東筑東京ラン俱楽部 江口幸治（80期）

最後の直線では有森ゆう子さんの笑顔とたくさんの声援。最後の力を振り絞って、ビクトリーロードを駆け抜ける。

2014年2月9日、第1回北九州マラソンに78期から82期までの東京ラン俱楽部のメンバー15名が参加しました。東京から大勢で乗り込んだのは、北九州市とともに生まれ育つた私たちには特別な意味があるように思えた事と、この人生の節目とも言える50歳に新たな挑戦をしたかったからです。

スタート地点でのメンバーと同窓の応援の皆さんとの記念撮影には、三原朝彦先輩も東京から駆けつけてくださり、ランナーたちには大きな励みとなりました。第1回の大会では、いろいろと不備があるものらしいですが、とても行き届いた素晴らしい大会運営で、地元の皆さんのお応援やサービスにも心を打たれ初心者の皆もとても気持ちよく走ることが出来ました。改めて北九州出身であることを誇らしくも感じました。

今回のためユニフォームも作成しました。80期の友人のデザインで、東筑のカラーであるエンジの生地に背中には白抜きで

「TOCHIKU」、腕には螢光塗料で80期当番時のテーマでもある「絆」の文字をあしらった、私たちに相応しいものに仕上げて貰いました。当日はランナー全員、このユニフォームを着用したのですが、この「絆」は私たちだけではありません。

沿道で応援する皆さんからの「東筑頑張れ!!」、私を追い抜いて行く女性ランナーから、「先輩、もう少しですよ!! 校歌を唄つてるうちにゴールですよ!!」などと、同窓生と思われる皆さんからの沢山の声に励まされ、どんなに心強かつた事か。

ゴール後は、重たい足を引きずりながら、黒崎に繰り出し美酒に酔う。たくさん思い出を胸に仕舞つて東京へ。

北九州の皆さん、応援有難うございました。次回もまた大勢で押しかけます!!



第1回「ようこそ先輩講演会」開催

東筑会事務局長 小川邦彦（77期）

今年度の東筑会総会の行われた6月7日（土）の午前に、東筑高校では第1回となる「ようこそ先輩講演会」が行われました。この講演会は、東筑生が将来社会に貢献するために、現在、社会の中で中核として活躍している東筑高校出身の先輩方の話を直接聞き、様々な職種の具体的な内容やそのために必要な知識・技能を知ることで、生徒のキャリア教育の一助として、進路意識の高揚を図ることを目的として行われたものです。

準備は、昨年度より始まりました。柴田前校長の発案のもと、東筑会の当番期がちょうど社会の中で中核として活躍している年代であることを踏まえ講師を頼んだらどうだろか等、キャリア教育部と同窓会事務局とで構想を練りました。5月の東筑会役員会で講師の依頼協力をお願いし承っていましたが、総会前では当番期は多忙すぎ、ようやく話が進み始めたのが12月になつてからでした。83期の幹事の皆様を交え、「当番期を終えた前当番期が集約に当たり、5期下の期まで講師をお願いしよう。」「日程は、総会で同窓が郷里に集う日が最適では。」など話し合い、少しづつ進展し始めました。

そして、法律・経営・国際・メディア・研究・医療・コンピュータ・製造・交通など、様々な職種の中から推薦され、講演を快く引き受けさせていただいたのが今回の講師14名の方々です。短い講演の準備期間だったにもかかわらず、パワーポイントや資料を作成していただき、現役生に熱く講演をしていただきました。講演後の現役生との交流会でも、「将来、起業しようと思っているのですが気をつけることは?」「次世代のリーダーとしてなすべきことは?」「やりたいことが沢山あるのですが、全部やれるのでしょうか?」など東筑生らしい悩みや質問に対し、経験を含む重みのある言葉で親身に熱く語るさまは、母校への愛や後輩への思いやりをさまざまと感じさせ、見ている者の胸を強く打つものでした。生徒たちもその思いを強く感じ感想に残していくまです。「ようこそ、先輩! そして、ありがとうございます。」



「ようこそ先輩」交流会の様子

「私たちにできること

プロジェクト～文化祭

東筑高校教諭 神 祥子

東京東筑会



114期生が製作し、販売した作品

本年度は「HARMONY～それぞれの音で響かせよう～」というテーマで、各学年や文化部・生徒会の企画などが実施され、素敵なハーモニーが東筑に響き渡りました。その中で「私たちにできることプロジェクト」という企画を家庭クラブ・生徒会・食物部で行ないました。内容はバザーで得た収益を復興支援の義援金として寄付するというものです。

昨年11月に、柴田前校長・杉本先生・板木先生が岩手県立高田高校を訪問し、東日本大震災の被害の状況や現在の様子など全校集会で生徒に話をされました。陸前高田にある校舎は観測史上最大規模の地震に見舞われ、大津波により全壊し、甚大な被害を受けたそうです。訪問当時、生徒たちは仮設の校舎で授業を受けていた状態で、今もなお厳しい状況にあるということがわかりました。

その話を聞いて、私たちにできることはないか、家庭クラブ委員と話し合い、何か作品を作つて文化祭で販売し、収益を高田高校に寄付しようとすることになりました。作品は誰でも簡単に作ることができ、機能的なものにしようと試行錯誤しました。そして家庭科の授業の中で被服製作の一貫として114期生全員がポケットティッシュケース等の作品を作り、家庭クラブ委員が文化祭で販売しました。

また、生徒会・食物部の生徒にこのプロジェクトの話をしたところ、是非参加したいと申し出してくれました。生徒会は、昨年度より始めた模擬店での収益を寄付することになりました。模擬店では3年生の有志でサンドイッチやホットドッグ等を調理・販売しました。食物部は、例年販売しているクッキーやマドレーヌ等の焼き菓子に加え、手作りピザを販売しました。いずれの企画も大盛況で、全額5万円もの収益を得ることができ、高田高校に義援金として寄付することができます。本当に多くの方にご協力を頂き、ありがとうございました。

東日本大震災から三年以上が経ちますが、このプロジェクトを通して、遠く離れた福岡の地に住む私たちにもできることはまだたくさんあるということを再確認できました。震災があつたという事実だけでなく、多くの人の思いや願いを決して忘れてはならないと思います。私たちは今後もこの活動を続けていければと考えています。

各地区東筑会だより

東京東筑会の状況について

今年度の東京東筑会の執行部体制変更が、4月の総会で決まりました。任期満了にて行ないました。内容はバザーで得た収益を復興支援の義援金として寄付するというものです。伴って、渡辺前副会長、古野前副会長、結城前幹事長、高木前事務局長が退任せられ、新たに大井新副会長、赤松新副会長、佐野(和)新副会長、西本幹事長、そして事務局長の私(億谷)。なお高木新監査役は、副会長となつた大井さんに代わつて監査役を勤められることになりました。

新体制に移行後、早速、学生部(つぼみ会)主催による新人歓迎バーベキュー大会を実施しました。今年は、お台場にある都立潮風公園バーベキュー場が確保でき、参加した東京東筑会員の方々も、楽しい一時をすごしたことだと思います。毎年恒例になつております。老若男女が一齊に集う屋外一大イベントになつています。何と言つても、

今年、故郷から東京近郊の大学に出て来たばかりの大学1年生には、ホッとする一時であつたことは、間違ひないでしょう(写真)。

7月5日のあづみ会では、社会人になって初めて上京してくる同窓生を中心に、若手の社会人を歓迎。112期の大学1年生から59期の北村会長まで50名が、日本の政治の中心である霞ヶ関に集まりました。講師に、中條一夫氏(85期・現在、内閣官房)をお迎えして「酒と外国人には飲まれるな!」。85期が、総力を結集して楽しい会を開くことが出来ました。



つぼみ会新人歓迎バーベキュー大会… また新しい和ができました

を聞くことが出来ました。

事務局長 億谷和彦(74期)記

8月6日の東筑フォーラムでは、講師、83期 安藤進一氏をお招きし、最近何かと同窓生の話題になつてゐる「折尾駅について語ろう!」。

そして、いよいよ年間の最大行事である東京東筑会懇親会(10月25日)の準備が着々と進んでいます。開催会場は、元祖御三家と呼ばれる「ホテルニューオータニ」です。行く機会が無い方は、この機会に、ご参加下さい。テーマは「We are the one」です。

東海東筑会

平成26年度の活動報告をいたします。
橋爪会長2年目となりより充実した年に：
と役員一同頑張っています。



2年目の橋爪会長 より充実した年に…

今年のテク会は、平成25年12月1日（日）名古屋市内千種区の史跡めぐりと紅葉めぐりで楽しい一日でした。

平成26年度第28回東海東筑会総会を、平成26年4月20日（日）東筑会より豊倉辰志事務長のご臨席を賜り、「ホテル・ルブラン山」にて盛大に開催いたしました。今回も東筑会同窓会当番期84期会長米田喜久

ルメを楽しむ会となりました。揚輝荘・末盛城址昭和学堂・桃巌寺等史跡と紅葉めぐりで楽しい一日でした。

高齢化に向かう東海東筑会ですが、若い会員の入会を図り継続できる体制にして本部東筑会と共に発展して行きたいと考えております。

本部東筑会の益々のご発展を祈念いたします。

事務局 木村睦彦（56期）記

関西東筑会

5月17日（土）、平成26年度関西東筑会総会・懇親会が開催されました。出席者数は161名と、年々増え続けています。

昨年まで会場としてきたラマダホテル大阪が閉館され、本年度は新大阪にある大阪ガーデンパレスでの開催となりました。

総会後の懇親会では、関西東筑会荒金会長の挨拶に続き、ご来賓の東筑高等学校香野教頭先生、本部東筑会佐竹副会長、東京東筑会佐野副会長、84期本校当番期辻副会長より、それぞれ挨拶を頂き、最年長の52期橋本磯先輩の乾杯ご発声により、宴が始まりました。

大学生も多数参加し、フレッシュな夢を語つて場を盛上げてくれました。

お楽しみコーナーでは「東筑カルトクイズ」が行われました。突如現れた当番期幹

事務する怪しい美女カトリースが、母校の歴史やお世話になつてゐる先輩方の若かりし姿を題材に、巧みな話術で会場を大いに沸かせました。

66期富永副会長の東筑高校校歌に込められた深い意味を拝聴し、当番期応援団と、110期で女子初の応援団長佐々木つぐみさんによる演舞に合わせ、会場にいる全員が大きな輪になつて1番から3番までの長い校歌を歌い切りました。恒例ではありますが、何度も感動します。

来年度当番期の82期生のみなさんは、14人が参加し、来年度に向けた強い意気込みを示してくれましたので、安心して引継ぐ



今年もカープで盛り上った第28回総会

志・事務局次長林和道氏両名が本部同窓会の案内、グッズ販売等を兼ねて参加いただき会を盛り上げて頂きました。今回新しい会員85期本田勝善氏も参加された、若手の参加もあり活気ある同窓会となり、ビンゴゲーム、写真撮影、校歌齊唱に加え、今回は服部悦子氏のアルトサックスの演奏付き、と最高潮の盛り上がりで幕を閉じ再会を期し散会いたしました。



みんな輪になり校歌3番まで。なが~い。

広島東筑会

第28回広島東筑会は、平成26年1月12日に出席者過去最多の38名で、柴田校長、久保副校長、高山会長をお迎えして今年も賑やかに開催されました。

いつもと違うのは、始めから会場が熱気を帯びていたことです。

去年の、カープAクラスの喜びとクライマックスシリーズの興奮覚めやらず、また

導と、全国から駆けつけてくれた40名を超える同期の応援に助けられ、東筑高校卒業生の素晴らしいをあらためて実感しました。本当にありがとうございました。

81期当番期一同記

当のサードコーチ高くんが当番期ということで、84期会長米田さんはじめ5名もの役員さんが来広して下さり、大変盛り上がったのです。校長先生による母校の近況についても、去年よりSSHに指定された東筑生が最先端の科学技術や英語教育に触れ、ますます世界へ羽ばたくべく育成されていふとのお話しに、とても頼もししく思いました。余興は絵画鑑賞や、もちろん45期渡辺さんのアコードイオン、50期高橋会長のサックスをはじめいつも芸人が演いました。今回は嬉しいことに3名の方が入会され、校歌斎唱の前には「全く覚えてない、絶対歌えん」と言われた新会員の方が「あれ、歌えた」とご自身でもびっくりされました。

今年もまた広島がわくわくしています。ぜひ広島東筑会へご参加下さい。アウエイ席もご用意できますよ！ご連絡は高橋会長、又は田代までお願いします。

田代直子（77期）記

今年もまた広島がわくわくしています。ぜひ広島東筑会へご参加下さい。アウエイ席もご用意できますよ！ご連絡は高橋会長、又は田代までお願いします。

懇親会では高山会長にご挨拶を頂いた後、当会顧問の古賀貞巳氏（48期）のご発声で乾杯をし懇親の時間に移りましたが、会場では今回完成した「ふくおか東筑会の会旗」が披露されました。

真新しい会旗を囲んで記念写真の輪が広がっていました。

平成26年「ふくおか東筑会」の総会並びに懇親会は5月24日（土）17時から福岡国際ホテル（福岡市中央区天神）で高山東筑会会长、本校の花岡校長と花田副校長を来賓に迎え、近年にない140名の出席者で開催されました。

総会の後、恒例の卒業生による記念卓話は福岡赤十字病院長の寺坂禮治氏（66期卒業）によるユーモア溢れる有意義な講演で、会員一同熱心に聞き入りました。

続いて花岡校長から就任ご挨拶と本校の現状報告がありました。

事務局長 富増春樹（69期）記



一年ぶりの再会で賑わう懇親会

岡垣東筑会

会員増を目指して

平成26年度（第39回）岡垣東筑会総会を「ぶどうの樹 野々庵」で、花岡校長先生、東筑会本部原田副幹事長他、近隣東筑会会長様を来賓にお迎えし、また当番期の米田

会長様をはじめ7名、岡垣東筑会会員42名総員60名の参加で盛会の基に開催する事が出来ました。

私は、この総会で2期目の会長のご推举を頂きましたので2期目の就任のご挨拶をする機会を頂きました。

平成26年度（第39回）岡垣東筑会総会を「ぶどうの樹 野々庵」で、花岡校長先生、東筑会本部原田副幹事長他、近隣東筑会会長様をはじめ7名、岡垣東筑会会員42名総員60名の参加で盛会の基に開催する事が出来ました。

会長 徳田 徹（62期）記



完成の会旗の下、高らかに校歌斎唱

芦屋東筑会

会員の皆様、昨秋から藤江宣喜前会長の後任として芦屋東筑会会長を務めさせていただいております62期の徳田徹と申します。まだ若輩者でございますので、皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願ひ申し上げます。

さて、第37回芦屋東筑会総会・懇親会を、平成25年10月26日（土）に「マリンテラスあしや」で開催いたしました。当日は、東筑高校をはじめ本校同窓会「東筑会」・隣七つの地区東筑会より来賓のご臨席を賜り、会員と合わせ76名の出席者で会場は一杯となりました。

第一部の懇親会は、はじめに物故者に黙祷を捧げ、来賓の紹介・祝辞、議案の承認と、恙無く終了しました。

第二部の懇親会では、校歌を元気良く斎唱をしました。

今年の芦屋東筑会総会は、平成26年10月18日（土）18時から「マリンテラスあしや」で開催予定です。芦屋町に縁のある皆様、芦屋東筑会への入会や総会参加をお待ちしております。今年もまた、皆様の元気な姿にお会いできることを楽しみに、会の運営、発展に努めてまいります。

今年の芦屋東筑会総会は、平成26年10月18日（土）18時から「マリンテラスあしや」で開催予定です。芦屋町に縁のある皆様、芦屋東筑会への入会や総会参加をお待ちしております。今年もまた、皆様の元気な姿にお会いできることを楽しみに、会の運営、発展に努めてまいります。

唱し、乾杯後の歓談では皆様一年ぶりに旧友と再会し、思い出話に花を咲かせ、どのテーブルも大変賑わっていました。また、恒例のお楽しみ抽選会では抽選のたびに歓声が起るなど、賑やかで楽しいひと時を過ごすことができました。

開催に際して若い会員や2014年本校同窓会当番期（84期）の方たちには、受付や案内・接待などのお手伝いをしていただき、誠にありがとうございました。皆様のご協力により25年度の総会・懇親会が盛会のうちに終了できましたことを、心より感謝し厚くお礼申し上げます。



会員増強で会の活性化を(太田会長あいさつ)

遠賀町東筑会

我が遠賀町東筑会は、昭和46年8月に発足し、翌年47年の会則制定・会員名簿作成から40年を経過しましたが、当初の会則に次のように4つの活動方針を定めています。

一、会員相互の親睦を深めるための会合

二、会報「筑友」の発行

三、会員名簿の発行

四、その他、本会の目的を達成するために必要な事項

この方針に基づき事業を実施しています

が、その最大のイベントが、会員相互の親睦を深めるための総会・懇親会であり、毎年9月の第1土曜日に開催しています。

平成25年は、9月7日（土）午後6時30分から遠賀町コミュニティーセンターで開催しました。本校東筑会高山会長・東筑高



来年の再会を約して

以上、近況と活動報告です。

副会長 德王隆磨（60期）記



事務局長 八木秀典（65期）記

東筑会総会・懇親会、お待ちしています。(84期当番期あいさつ)

平成16年に前会長の時代に名簿の整理が行われましたが、その後整理も行われずにいたので転居した方や亡くなられた方のお名前がそのまま載っていたりしてご迷惑をかけてきました。役員会でも再三協議してきましたが、昨今の「個人情報保護」との関連から慎重にならざるをえませんでした。しかし会の活性化には名簿の整理が必要との意見で、その取扱いには十分考慮して取り扱うことを申し合わせ、4月の総会に間に合わせることにして編集しました。

これを機に岡垣東筑会の会員増につながり、「会の活性化」を進めたないと考えています。今後とも皆様のご支援、ご協力をお願い致します。』と述べ挨拶致しました。

会長 太田 強（58期）記

中間東筑会

校柴田校長をはじめ、近隣東筑会役員の皆様にご臨席を賜り、総会にて事業報告及び会計決算報告を承認していただきました。

総会が終わり、皆さんに待ちに待った懇親会の開宴です。1年ぶり（？）の再会を喜び、各テーブルに談笑の花が咲きました。

まさに「よきかな東筑 同窓生」。また、

平成26年度本校同窓会当番期84期の面々8名の応援で、平均年齢が一気に若返り、一段と会場も盛り上がり、あつという間の一

刻が経過。遠き若き日を思い出しながら校歌齊唱でお開きとなりました。

今回、応援に駆け付けてくれた、当番期84期の皆さんに心から感謝するとともに、この場を借りてお礼を申し上げます。本当にありがとうございます。

次に、会報「筑友」の発行です。毎年、総会時に配付していますが、今年は、創刊から40年の節目を迎え、役員一同、少し工夫したいと思案しているところです。いつも

あります。

最後に、会員名簿の発行ですが、これは三年毎の発行で、今年はその年に当たります。今まで外注をしていましたが、経費節減のため、今回は手作りとしました。

会員といえど、近隣の会も同様かと思いますが、近年、会員の減少に頭を痛めています。昭和47年11月末現在で476名いた会員が、45年経過で338名と138名減少しており、若年層の加入が無いため、減少に歯止めがかかりません。役員、会員各位に加入勧誘・促進、工夫をお願いしていますが、現状は厳しいものと危惧しております。

去る3月29日、中間市ハーモニーホール小ホールにて平成26年度中間東筑会を開催しました。中間東筑会総会は隔年開催、120名余りの出席のもと、2年振りの再会に旧交を温めました。総会議決事項を承認、続いて懇親会には中間東筑会新会長に選出された船津革氏の挨拶、本校から柴田

前校長、久保前副校長、本校同窓会会长高

山様のご祝辞、関西を始め地域同窓会会长、多くの先輩同窓の懇親機会に酒肴を交え、団欒の場となりました。中間東筑会総会に

お手伝い、協力頂いた本校同窓会当番84期の米田会長の挨拶、関西東筑会会长の荒金氏の音頭により乾杯、同窓の懇親会が開宴しました。2年振りの再会に笑顔の楽しい

時間を共有し、2年後の再会を約束して散会となりました。次回は28年4月の予定となります。

フレンドリー鞍手東筑会

「マリエラ号

ランチクルーズ「日帰りツアーア」

鞍手町東筑会恒例の日帰りツアーアを10月24日行いました。今回は福岡市博物館で黒田官兵衛ゆかりの品を見学、次いで博多湾

のクルーズ船に乗り湾を周遊しながら昼食を頂き、最後に酒蔵を見学するプランで会員14名が参加しました。爽快な秋の一日ツアーアになるかと期待を込めて待ち焦がれておりましたが、開催日まぢかの天気予報は秋雨前線が発達しつつ台風が来襲すると報じていました。当日、台風だけは免れましたものの雨の中の出発となりました。日曜ドラマに黒田官兵衛が取り上げられ博物館での品が急に身近なものとして一同熱心に見学をしました。そうこうするうちに雨も小雨に変わり「マリエラ号」から見る博多湾は雨に曇り海からみる市街地はぼんやりかすみ普段とは異なる船からの情景でした。昼食は個室に案内され、ゆらあーりゅらあーり揺れる中をワインで乾杯、スペシャルランチを頂きながら、昼酒でほほを赤く染めながら皆で談笑し、アツと言う間に過ぎたクルーズ乗船でした。下船する頃には雨もやみ酒蔵見学をし、日帰りツアーアの至福の一日は終わりました。

本年度も10月に「九州国立博物館 台北

國立故宮博物院展」の見学ツアーアを計画しています。多くの皆さんのご参加をお待ちしております。

今年5月鞍手東筑会の定期総会を行いました。新任の花岡校長・近隣の東筑会々長などのご臨席を受け、会員を含め52名の総会となりました。今回の総会を以って山本



秋雨の博多埠頭、マリエラ号乗船を前に

(54期)

引き続き行なわれました懇親会は献酬を重ねつつ旧交を温める中、随筆の朗読・歌唱等があり、今年は最後にじやんけん大会ご参加を歓迎致します。ご連絡は梶栗浩二事務局長(鞍手町木月1169番地・電話0949-42-10533)へして下さい。

坂本達夫(57期)記

総会に先立ち会報委員会が12頁のフレンドリー鞍手東筑だより第23号を刊行しました。今年のテーマは私達が毎日乗り降りした。今年まで残ったのは、新任花岡校長・ご来賓・鞍手東筑会員のご三方でした。そのあと校歌・万歳で総会懇親会を締めくくり無事終了となりました。

北九州くきのうみ東筑会

会名の変更及び本年度総会のご案内

おりお東筑会は平成3年に母校のお膝元である折尾地区の東筑会として発足しました。初代の入江会長から、第2代畑間会長、第3代田仲会長、第4代瀧瀬会長まで各先生方のお力で、会員の親睦・情報交換及び、地域への貢献を目標として、毎年11月に総会・懇親会を23年間続けて来られました。皆様のお導きお力添えに、感謝しております。

昨年、出席者から、北九州市内の同窓会の皆様が遠慮無く参加できるよう名称変更の提案がありました。それを受け、役員会で審議を重ね、昨年の総会で、新会名「北九州くきのうみ東筑会」が承認されました。

名称「くきのうみ」の由来は遠くあすか時代にまで遡りますが、姓名や地名を2文

会長が引かれることになり、岡松選考委員長(前会長)のもとで役員を選定し総会にかけられ新役員が次の様に決まりました。

会長坂本達夫(57期)・副会長大久保勝征(58期)・首藤純子(64期)・世話人代表原哲也(58期)・世話人副代表野中照彦(60期)・会計原繁幸(67期)・事務局長梶栗浩二(69期)・監査岡松正敏(53期)・山本基功旺

た室木線の特集で3人の方から寄稿を頂きました。又「西川とカツバの川次郎」として2頁にわたりふる里の昔話を載せました。

天皇の勅令がありました。以来、「久岐の海」と呼ぶようになったようです。

帆柱、皿倉山の頂上近くに野口雨情の歌碑があります。碑には、「くきの浜辺の船

もよい船も帆が無さや行かない その

ときつた帆柱は、帆柱山の杉でした」と刻

まれております。古事記、日本書紀に登場

する、15代神功皇后と海の道の案内をした

「おかの県主くまわに」の伝説を歌にした

のです。北九州に残された神功皇后にまつ

わる地名は帆柱山の外にも八幡西区には陣

原、皇后崎、若松区には魚鳥池、門司区に

も甲宗神社など多数残されています。

そんな古い歴史を持つ「くきのうみ」を

擁くようにある北九州の東筑高校の卒業生

や関連の方々に、気兼ねなく参加して頂きたいという願いを込めて名称を選びました。

本年の総会は通算24回目、新生第1回目

総会となります。

平成26年11月29日(土)

会場は北九州ハイツを予定しております。

詳しく述べてご案内したいと思います。楽しい語らいの時を用意できるよう努力しております。お友達にもお声かけを下さり、より多くの同窓生のご参加を心より願っております。

会長 藤崎英徳(53期)記

水巻東筑会

第13回平成26年度水巻東筑会総会・懇親会は、さる5月17日(土)に水巻商工会館で開催しました。母校および東筑会、近隣

東筑会の来賓、東筑会総会の当番期の方々のご臨席を賜り、会員と合わせ60名の出席



次回元気にお会いできることを楽しみに

当日は日曜日にもかかわらず、東筑会及び東筑高校、近隣地区東筑会の多数の来賓、東筑会総会の当番期（84期）の方々のご臨席を賜り、盛会裏に無事終了することが出来ました。

前年度の事業報告、収支決算報告、監査報告、新役員、並びに今年度の事業報告案、収支予算案が提案どおりに承認されました。

啓子氏（68期）より「薬のお話：ジエネリック医薬品の上手な使い方」と題して、ご自身が現在勤務されている調剤薬局での経験、薬の賢い使い方などを丁寧にお話いただきました。

また、懇親会では初めて参加された方にお話をいただいたり、校歌を歌つたりして終始和やかな雰囲気で進行することが出来ました。

さて、宗像東筑会の活動としては毎年恒例の「宗像環境フェスタ」のリサイクルマーケットに出店しております。東筑高校の幟を掲げて地域活動に積極的に参加しております。ぜひ一度参加してみませんか。

最後に、この会報をごらんになった宗像、福津にお住まいの東筑高校卒業のみなさん、年一回の総会・懇親会に是非ご出席いただけます。よき時代を思い出そうではありませんか。

宗像東筑会では初めて参加された方に

お話をいたしました。校歌を歌つたりして終始和やかな雰囲気で進行することが出来ました。

前年度の事業報告、収支決算報告、監査報告、並びに今年度の事業報告案、収支予算案が提案どおりに承認されました。

懇親会では、学生時代を懐かしんで思い出話に花を咲かせ、どのテーブルも大変賑わっていました。最後に校歌を声高らかに齊唱し名残惜しい中、閉会しました。

次回もまた、皆様の元気な姿にお会いで生きることを楽しみに、もっと多くの同窓生に参加してもらえるよう会の運営・発展に努めてまいります。

事務局長 友廣大祐（90期）記

平成26年度の宗像東筑会総会・懇親会を4月13日（日）に例年通り玄海ロイヤルホテルにて開催しました。

宗像東筑会



84期当番期です。PRにまいりました

事務局長 友廣大祐（90期）記

平成26年度の宗像東筑会総会・懇親会を4月13日（日）に例年通り玄海ロイヤルホテルにて開催しました。

例の「宗像環境フェスタ」のリサイクルマーケットに出店しております。東筑高校の幟を掲げて地域活動に積極的に参加しております。ぜひ一度参加してみませんか。

最後に、この会報をごらんになった宗像、福津にお住まいの東筑高校卒業のみなさん、年一回の総会・懇親会に是非ご出席いただけます。よき時代を思い出そうではありませんか。

宗像東筑会では初めて参加された方に

お話をいたしました。校歌を歌つたりして終始和やかな雰囲気で進行することが出来ました。

前年度の事業報告、収支決算報告、監査報告、並びに今年度の事業報告案、収支予算案が提案どおりに承認されました。

懇親会では、学生時代を懐かしんで思い出話に花を咲かせ、どのテーブルも大変賑わっていました。最後に校歌を声高らかに齊唱し名残惜しい中、閉会しました。

次回もまた、皆様の元気な姿にお会いで生きることを楽しみに、もっと多くの同窓生に参加してもらえるよう会の運営・発展に努めてまいります。

事務局長 友廣大祐（90期）記

平成26年度の宗像東筑会総会・懇親会を4月13日（日）に例年通り玄海ロイヤルホテルにて開催しました。

宗像東筑会

平成17年発足以来、今年で10回目となるひのくに東筑会総会は、5月25日（日）、来春からはじまる再開発で今回が最後となる、熊本交通センターホテルで開催された。

ご来賓として、花岡新校長、香野教頭、東筑会の佐竹副会長、当番期の84期から3名を迎える、また今年初めて、熊本での活動が活発と言われる、嘉穂中学・高校同窓会熊本支部から3名の役員の方も列席いただきました。

型どおりの総会のあとは、地元阿蘇・西原を拠点に活躍する音楽グループ「ビエント」のお二人のミニコンサートで幕あけ、アンデス地方の様々な民族楽器とシンセサイザーを織り交ぜた優しく、寂しげで時に楽しく壮大な音を楽しむひとときだった。

最後の曲、コンドルがはつてた（熊本の方言で去つて行った）あとは、今年新入社したばかりの熊本朝日放送（KABテレビ）柴田理アナ（107期）の明るい司会で懇親会に移る。花岡校長の母校の現状報告を交えた話もいただき、数十年前の我が現

事務局長 門司 剛（63期）記

ひのくに東筑会10周年総会 平成26年5月25日 於 熊本交通センターホテル
嘉穂高校OBをお招きして交流

ひのくに東筑会としては、熊本県内在住の東筑出身者の更なる交流をすゝめるべく会場をあとにした。

事務局長 宮川藍臣（57期）記

北海道東筑会

2014北海道東筑会総会・懇親会



はや3回目の総会・懇親会



5月10日、すつきり抜けた札幌の春空のもと、福岡から東筑奨学会理事長の小野晃様をご来賓にお迎えして、早いもので3回目の総会・懇親会が開催された。新たに転勤で札幌在住になられたお二人の参加を頂き11名の同窓が、いつもの「サントリーズガーデン・昊」の静かな座敷に集つた。

「二人集えば東筑会」から少しずつ輪が広がっていることを喜ぶ、八田事務局長の乾杯のご挨拶で懇親会がスタート。奨学会の小野理事長から、持参していただいた資料を基に、活躍する現役や発展している奨学会の様子を語つていただき、会場が折尾の空気に染まりお話を引き込まれてしまう。

「サントリーズガーデン・昊」の静かな座敷に集つた。

昭和18年学徒出陣し生き残り91歳、92歳。39期生健在也。毎月一回黒崎井筒屋で楽しい食事会に花を咲かせている。

今日は先輩からの伝承の先生方渾名を想い出してみよう。昭和2年から40年迄、戦前戦中、戦後38年間も東筑一本やり先生って誰? 21期から69期迄教えていただいた先生? 「スパロー」す・ずめの安永四郎先生。温顔、明るい英語の解りやすい発音。昭和10年入学の時の校長は矢野磯一先生、インドのマハトマ・ガンジーそつくりで「ガンジー」。教頭の三浦義蔵先生は2米近い長身で「ロンゲ」。国語の顎の長い江藤寛先生は「ホラ」。上田胤栄先生は「チヨボ姫」。田仲道生先生は「ミッチャン」。漢文の加末均先生は大変緊張される方で顔色がすぐ変わるので「七面鳥」。数学の渡辺三勇吉先生は「アンパン」。丸い艶々な愛敬顔。犬丸太郎先生は頬が両方膨らんで福々しい「フクチヤン」。地理の浦清一先生は「ハゲ」。板書している時、頭のテツペンが茶色のお盆。加藤広先生は、検定出身の努力家まじめな人「ダンダン」。西洋史の中島遜先生は剣道四段、大きな土手つ腹で「ビル樽」。歴史の赤ら顔の梶栗一恵先生は、英語の小見山寿海先生は長

懇親が深まる中での自己紹介、109期の大学生から54期の会長まで各々の近況報告や故郷への思いを披露していただき、皆さんの笑顔が益々こぼれ会話が弾む。

今期の当番にあたる84期の岩崎明広さんから当番期活動に対するご協力へのお礼の言葉をいただき、さらに東筑会総会の記念品を特別に案内していただくとすぐに品切れてしまい、皆様の並々ならぬ母校への思い入れと後輩への気遣いに感じ入つてしまつた。

居心地の良い空気の中で時間はすぎ、肩に組んでの校歌齊唱とエールの感動の余韻に浸る中、最後に沖津行廣会長から、皆様に向けられる温かい思いやりと再会を約束するお言葉をいたぐと、東筑の仲間でよかつたと感極まつた。皆様にはお会いするたび東筑であることに誇りを持たせていただき心より感謝いたします。ありがとうございます。

白石 誠(82期)記

各 期 だ よ り

39期だより

渾名で綴る恩師への思い出

い顔、高背で曲っている「ウマ」。音楽の阪乃先生は「三銭」。柔道の石川博先生は「ゴエモン」。剣道の古澤繁雄先生は「大明神」。

軍事教練の古庄長吉少尉は「キヨンキヨン」。何時もビンピン張りきついている。和田満准尉は「ドジョウ」。鼻チヨボヒゲ。

物理の永畠春美先生は「カマキリ」。体操の早野隆先生は「カンペイ」。体操の日、雨の授業は、「レ・ミゼラブル」。ジャン・バルジヤンの連続のお話をして貰い大変印象に残つた。

戦前・戦中の先生方は夫々個性豊かな

方々が多く、型に促われない「教育哲学」を持つておられたようになります。

読者のあなた。己巳己の三つを今すぐ正確に発音してください。私は東筑一年の時教えていただき91歳の今、正確に発音出来ます。己みは上に己すれば半ばに届くとも己おのれは下と思え世の人」と脳に叩きこんでいます。スバラシイ東筑の先生方、どうなたも天国におられると思いますがお許

生軍事教練の古庄長吉少尉は「キヨンキヨン」。何時もビンピン張りきついている。和田満准尉は「ドジョウ」。鼻チヨボヒゲ。

物理の永畠春美先生は「カマキリ」。体操の早野隆先生は「カンペイ」。体操の日、雨の授業は、「レ・ミゼラブル」。ジャン・バルジヤンの連続のお話をして貰い大変印象に残つた。

戦前・戦中の先生方は夫々個性豊かな方々が多く、型に促われない「教育哲学」を持つておられたようになります。

読者のあなた。己巳己の三つを今すぐ正確に発音してください。私は東筑一年の時教えていただき91歳の今、正確に発音出来ます。己みは上に己すれば半ばに届くとも己おのれは下と思え世の人」と脳に叩きこんでいます。スバラシイ東筑の先生方、どうなたも天国におられると思いますがお許



39期生健在也。(平成26年6月)

しきださい。

全東筑の同窓生よ!!人生は笑いと努力にある。たとえ何が何であろうとも、自分が「こう」だと決めたことに生命をかける。それが最大の幸福だと思う。

(幹事 刀根博愛 記)

46期だより

「新よんろく会」に幕

◎46期の特異性

入学した昭和17年は太平洋戦争の戦時下で、戦争の激化と共に学徒動員として工場等に派遣され、終戦まで学業どころではなかつた。また、多数の者が特攻隊要員として半ば強制的に徴用され、復員により同学年に復学した。

復学しても教育方針の大転換で、落ち着いて勉強できる環境とは言えなかつた。

この様な混乱のためか4年終了で卒業を認められ約半数が卒業し、所定の5年間に進級した者と2度の卒業があつた。

○新よんろく会の結成
平成5年46期生はすでに64歳。物故者46名、住所不明63名であつた。このため同君を中心、「会」を結成することにして、基本方針を決定した。

- ①希望者のみとする
- ②会費を徴収する
- ③会員の把握や相互連絡を諳るため名簿を作成整備する
- ④会報を発行する
- ⑤会員の慶弔には生花等を贈る

賛同者115名で発足し、第一回の総会・懇親会を平成6年6月11日、黒崎は



締めの総会。これからも良き仲間

49期だより

立冬の11月7日、同期会を「ホテルクランバレス北九州」で開催、朝からの曇り空も次第に小春日和になりました。受付担当で早目に来た友と一年振りの久闊

を叙し、準備の名札を並べながら、それぞれの面影が思い出されました。

ぼちぼちと懐かしい顔が揃い出し、折尾からのバスが着くと一気に賑やかになりました。

総会は毎年開催しており、マイクロバス等で温泉地等に一泊とし、盛会であった。会員が叙勲受章の際は大きく掲載した。(故12時半には全員席につきました。出席者は男性39名女性15名でした。遠くは関東、奈良からの参加もあり、絆の強さを感じました。

永田世話人代表の挨拶につづき、傘寿を過ぎて鬼籍に入る方も多く、故人に思いを馳せながら默祷しました。乾杯は卒業以来62年振りに奈良からの島津氏の音頭で一気に和やかさが増し、歓談に移りました。料理も運ばれ、皆さんの笑顔に幸を感じました。催し物の最初はフランクスで、思わず体が動くようでした。つづく「オールドスター沖田」の演奏で、会場は音楽と話し声で騒然とした賑やかさで最高潮に達しました。加えて山城毅氏の作詞、作曲のア・イ・ウ・エ・オ・の詩を山城氏のリードでみんなで歌いました。歌詞は四季折々の中に生活、動物、花が現れ素敵だと感じました。この詩が北

た。名残りの話にカラオケも楽しみ「会は解散してもお互い連絡をとり合いガンバロー」と誓い、藤津巖剛君の仕舞「高砂」と万才で幕を閉じた。

(代表幹事 小川直武 記)

九州市の目に留り、CDが出来ています。カラオケでみんな心ゆくまで歌いました。最後は49期のますますの発展をこめて万歳三唱しました。

今日の同期会に出席できることに感謝しました。

私は、代表世話人をはじめ各世話人のご苦労があつた事を付け加えておきます。

逢えばみな笑顔こぼる、小春かな

(美智子)
(高村美智子(志村)記)

50期だより

別府の明礬温泉で傘寿を祝う

「友が皆 ほろほろ酔うて 傘寿の宴」

私たち50期の有志35人(プラス付添い1人)は、平成25年10月6日夕、大分県別府市鶴見のホテル「さわやかハートピア明礬」に集まり、生涯に一度の満80歳を祝う同期会を開いた。明礬温泉は浜脇など「別府八湯」と言われる温泉郷の一つである。

嬉しいことに参加者は全員元気で「次回の米寿まで、お互い頑張ろう」と指切り拳を立て、大いに盛り上がった。

明礬温泉のホテルは、久保田和光君の常宿である。そのせいか、ホテル側の応待は心のこもったもので、ホテル代のシニア割り引きに加え、豊後牛ステーキコース料理や大分県産の日本酒と焼酎の品揃えなど、



傘寿を祝う別府旅行

皆と酌み交わしたい、と心から念じている。

50期の明るいニュースをもう一つ。今年1月22日のお昼、ステーションホテル小倉に61人の友人が集まつた。内科医の是此田穰君の文科大臣表彰をお祝いするためだ。

長年、小学校の校医として学校保健の向上に尽くした功績が認められたのである。50期会からは大きな花束と記念品代が贈られた。

(福岡支部 高崎剛夫 記)

51期だより

三年四組クラス会 阿蘇 高千穂へ

平成25年10月15日～17日の旅参加者は9名内男性は3名で年々男性が減つてゆく。

クラスでは女性は1／3弱だったのに女性は団太く生きられるのか苦労した分強いのか？いづれにせよ参加

出来た幸を喜び合う。当日JR博多駅に集合し熊本へ、乗り替の時間を

利用して熊本城へ、昭君之間の障壁画・掛け軸などに圧倒されて天主閣へ

登つたが曇つて阿蘇の山々は見えなかつた。城内で昼食をしタクシーに台乗して熊本駅へ、ところが女性群

は出た町と反対側でタクシーを下り

50期は、これまで還暦祝い(福岡県

二日市温泉)に統いて、古稀祝賀夕食会

や奈良・京都を巡る喜寿旅行を実施して

いる。

米寿のクラス会は、東京五輪の翌年だ。人生いろいろだが、花も嵐も踏みこえて、満88歳を祝う同期会では、天下の美酒を

皆と酌み交わしたい、と心から念じている。

ね」とブツブツ言いながら豊肥線へと急いだ、ほつとする間もなく車窓を美しい田園風景が流れてゆく、走り廻った疲れも忘れ

少女？(少しまユツバかな)の様に、わ

あわあ」と喜んだ。阿蘇駅から送迎バスで

ホテルへ。入口に「歓迎東筑51期三年四組

様」と大きく書いてあり、ちょっと誇ら

しい気分になった。

丁度この日田中勢津子さんの誕生日を

祝つて乾杯！宴会に入る。話はいつしか体

調の不具合や薬の話 果ては樹木葬いいね

などと盛り上る。

16日 ホテルから根子岳がくつきりと見えた。貸切のジャンボタクシーで阿蘇中岳に登る予定だったがガスのため登山禁止と

のことでの高千穂方面に変えた。途中で鉄道

未完成のトンネルを利用した酒造りの店に

寄つておいしい酒を試飲し峰を越えて神話

の里高千穂へ、天岩戸神社でパワーをもら

い五ヶ瀬川渓谷へ、ここは観光客で賑わっていた。帰りに中岳に寄つてみたがロープ

ウェイは動いていなかつた。一服してホテ

ルへ、蘊蓄あるタクシーの運転手さんの親

切丁寧なご案内に感謝、ホテル屋上の露天

風呂で身も心も癒す。

17日 今朝も晴天 バスで阿蘇神社へ。

流鏑馬が行われる参道を通り神社には珍し

いお寺様式の楼門を潜る。バスまでの時間

が少しあつたのですが近くの極楽寺へ、極

楽の鐘をゴーンと一撞き 阿蘇駅へ。

駅では豪華列車「ななつぼし」が明日初

運転でここで客が食事をするとのことで関

係の方々が出入りしている木造の新しい

建物がホームにあつた。これが？と思つた

が、この素朴な木の温もりが、人々の心を



参加できてよかったです

53期だより

(写真は市川市在住の小山富士男さんの提供)

(阿部道子(石松)記)

鎌倉散策プログラムを寄贈

かねてより53期が年間行事の一環として

実施してきた鎌倉散策は、東京東筑会からも熱心な参加の希望があり、近年は合同で



「第13回鎌倉散策会」円覚寺前にて

り、鎌倉散策のノウハウのパンフレット化も計画中である。

今までの詳細資料は五郡君の

HP : <http://homepage2.nifty.com/55-gogo/>

を参照。

1 鎌倉の興味ポイント（例）

1 源頼朝が武家政治を起こし、室町・江戸時代を経て近代日本への基礎構築に貢献。

2 古都鎌倉を現在の市に被せて比較研究も興味深い。（政所が現在の清泉小学校）

3 鎌倉は花・巨木・巨大な庭・竹林等四季を通じて自然を感じる。

4 日蓮の苦難の表舞台が多く、禅宗と対比する新仏教時代の思考の変化が興味深い。

5 伝馬を作った・後の東海道53次宿場、東海道線の駅に発展。

6 頼朝の墓の近くに薩長出身の重臣の墓があり、後世の魁（さきがけ）が見える。

7 やぐら（岩屋の中の墓）・土地が狭い鎌倉は高官のみ持つ事が可能だった。

実施をすることが恒例化している。そこで53期ではこれまでに蓄積してきた鎌倉散策のノウハウを、これを期に東京東筑会にそつくり寄贈することにした。ひろく東京東筑会に公開し、歴史ファンを増やそうという考え方である。

ここで言うノウハウとは鎌倉散策のガイドブックで、53期で地元の波田隆利君が長年に亘って実地を踏破し、歴史を書き、思索を重ね綴めた貴重な記録である。53期ではこれまで彼のガイドブックに

従つて、鎌倉時代の歴史を遠望する同時に、勝者と敗者をめぐる人間像を現代に引きつけて考察することが慣わしになっていた。

東京東筑会では、高木、結城両君を中心仲間と引き継ぎ推進すべく勉強中である。

喜寿を記念しての旅

54期だより



喜寿記念旅行 平成26年6月4日於：伊勢神宮

ど、ほどよいす曇りで涼やか。
高速道路で向うのは、比叡山延暦寺。東塔のあたりを散策。案内人の方も同じ年とか：負けちゃいられない、が、行く手は階段つづき。その前で立ちどまる友。「煙草を吸いながら、下で待っています。」…と。案内人も「ここに戻りますから…」と言い置いて先に立たれる。時折鳴りひびく鐘の音を聞きながら八百米をこえる深山の靈気を、心ゆくまで吸い込む。三井寺に参拝し、一泊。

翌日は、石山寺、伊勢神宮。降雨予報に反し、うす曇りで、快適。緑もあざやかな境内を、大木を仰ぎ見、砂利をふみしめて歩く。

雨が強くなつたらむずかしいかな？と心配された那智山めぐり。那智の滝は朝に降った雨で水量を増し、水しぶきをあげて音もはげしく流れ落ち、話し声もかき消されるとほどのだつた。これだけの水がひつきりなしに、あれだけの高さから流れ落ちる…。その偉大さ不思議さに神を感じ、信仰が生まれたのだろう。じつと立つて水の音を聞きながら、自分の存在の小ささを感じにはいられない。熊野那智大社、青岸渡寺までは四百八十段の階段があると聞いて、ちょっと躊躇したが、「限界挑戦」と心に決め、手すりと杖を頼りに昇る。上からは梅雨の晴れ間に滝と三重の塔の、またとない雄大な風景が臨まれ感慨一入。

三泊した宿は、それぞれに趣のちがう温泉で旅の疲れを癒してくれたし、一夜毎に、くじ引きで変る宴席は、久しぶりの友と心を通わせてくれた。どちらを向いても好意の笑顔に囲まれていた四日間。もとの生活にもどるのに段差を感じる。喜寿の団体旅行とあって、保険もしっかりかけてもらつて出かけたけれど、何事もなく無事終了。「また行きたいね。今度は傘寿の記念？」傘寿記念旅行が出来ますように、と那智の滝に願をかけようか…。

（北島弘子 記）



57期だより

**桑野幸徳君
母校で講演**

母校では、毎年秋に創立記念文化講演会が開催されており、平成25年度の講師に同期の桑野幸徳君が招かれました。

本講演会は、在校生に（1）最先端の

創立記念文化講演会



桑野君(前列左から5人目)と柴田校長(右)

とを目的として開催されています。

桑野君の太陽光発電システムの開発について、その活躍振りは同期の皆さんによくご存じのことだと思います。1963

年、三洋電機（株）に入社。太陽電池などの技術開発に従事して社会に役立つ商品開発に成功しました。（ソーラ電卓から日本初のソーラ発電住宅など）

その後社長を経て、太陽光発電の研究開発を推進、現在は太陽光発電技術研究組合理事長として運営に携わっています。

講演内容は、「私の歩んできた道～挑戦が人生を切り開く」と言うテーマで自分の人生を振り返って、太陽エネルギーへの飽くなき挑戦そして自身の失敗談と成功例などを熱弁されました。

会場の体育館は在校生・教職員・PTA関係者など1,100人余りが興味深く、集中して聴いており、我々同期も10数名が拝聴し、夢を追う桑野君に感銘を受けました。講演後の生徒からの質問コーナーでは、「積極的な大変得た質問、問題意識を持ち論議をしようとする姿勢を見て、さすが母校創立以来の『文武両道』『質実剛健』が進化して現代的に生徒に根付いてきました。

そして最後に「母校で学んだことを生かし、いろんな社会に役立つ仕事を経験することができます」・「母校に大変感謝しています」と締めくくりました。

生徒代表より花束贈呈と応援部によるエール、そして全員で校歌を齊唱し、会場をあとにしました。また当日、同期18人が集い「旅館つくし乃」で、「桑野幸徳君をかこむ夕食会」を開き大変楽しい交流の場となり、喜んでいただきました。

同期生にとつては誇りであり、「太陽光発電の時代」の先駆者の存在として今後さらなる活躍を願つてやみません。

（豊倉辰志 記）

58期だより

2年に一度の旅行は去年11月27日、小雨

降る折尾西口から熊本玉名温泉めざして出発しました。あいにくの天気で参加者は例

りは風もなく快適、川頭さんの歌にあわせて手拍子をとり、現役コーラス部員2名のリードで中年（？）混声合唱団の誕生です。それ違う舟の中ではビカ一のにぎわいでし

た。別れの時川頭さんに「今日は本当に楽しかったです」といわれました。昼食はもろこしで中年（？）混声合唱団の誕生です。それ違う舟の中ではビカ一のにぎわいでし



川頭さんも楽しんだ川下り

翌日は朝から陽がさし一路柳川めざして出発しました。天気次第と思っていた川下りは風もなく快適、川頭さんの歌にあわせて手拍子をとり、現役コーラス部員2名のリードで中年（？）混声合唱団の誕生です。それ違う舟の中ではビカ一のにぎわいでし

た。別れの時川頭さんに「今日は本当に楽しかったです」といわれました。昼食はもろこしで中年（？）混声合唱団の誕生です。それ違う舟の中ではビカ一のにぎわいでし

た。別れの時川頭さんに「今日は本当に楽しかったです」といわれました。昼食はもろこしで中年（？）混声合唱団の誕生です。それ違う舟の中ではビカ一のにぎわいでし

た。別れの時川頭さんに「今日は本当に楽しかったです」といわれました。昼食はもろこしで中年（？）混声合唱団の誕生です。それ違う舟の中ではビカ一のにぎわいでし

た。別れの時川頭さんに「今日は本当に楽しかったです」といわれました。昼食はもろこしで中年（？）混声合唱団の誕生です。それ違う舟の中ではビカ一のにぎわいでし

た。別れの時川頭さんに「今日は本当に楽しかったです」といわれました。昼食はもろこしで中年（？）混声合唱団の誕生です。それ違う舟の中ではビカ一のにぎわいでし

た。別れの時川頭さんに「今日は本当に楽しかったです」といわれました。昼食はもろこしで中年（？）混声合唱団の誕生です。それ違う舟の中ではビカ一のにぎわいでし

た。別れの時川頭さんに「今日は本当に楽しかったです」といわれました。昼食はもろこしで中年（？）混声合唱団の誕生です。それ違う舟の中ではビカ一のにぎわいでし

た。別れの時川頭さんに「今日は本当に楽しかったです」といわれました。昼食はもろこしで中年（？）混声合唱団の誕生です。それ違う舟の中ではビカ一のにぎわいでし

卒業50周年記念「石垣島旅行」と

19回 「温泉ぶらり旅」

61期だより

早いもので卒業50周年を迎える何か記念にと言う事で昨年11月18日より3日間石垣島に行つて来ました。朝早く福岡空港を出発、那覇を中継し新石垣空港に到着、さすがに亜熱帯地域で南国を肌で感じる。この地を選んだ理由の一つはスリーツケースが軽くて済むからでした。バスに乗り昼食をすませ最初の玉取崎展望台を見学。西に東支那海、東に太平洋と南国独特の青い海が広がる。次に川平湾でグラスボートに乗り海底の色鮮やかなサンゴ礁や熱帯魚を見物。

幸姫酒造の酒蔵見学だ。少し早めに宿に着き、ゆっくりと温泉に入り楽しみにしている宴会が始まる。歓談で盛り上がるが時間切れ。翌日は大原松露饅頭の工場に立ち寄る。全て商品が手作りでびっくり、帰りに出来立てをいただき一路水巻へ。2日間好天に恵まれ楽しい旅でした。

次回は熊本の植木温泉に行き、帰りに柳川の川下りや鰻を食べてこようかなと思っています。翌日は大原松露饅頭の工場に立ち寄る。幸姫酒造の酒蔵見学だ。少し早めに宿に着き、ゆっくりと温泉に入り楽しみにしている宴会が始まる。歓談で盛り上がるが時間切れ。翌日は大原松露饅頭の工場に立ち寄る。全て商品が手作りでびっくり、帰りに出来立てをいただき一路水巻へ。2日間好天に恵まれ楽しい旅でした。



荷物も軽く南国之旅

幸姫酒造の酒蔵見学だ。少し早めに宿に着き、ゆっくりと温泉に入り楽しみにしている宴会が始まる。歓談で盛り上がるが時間切れ。翌日は大原松露饅頭の工場に立ち寄る。全て商品が手作りでびっくり、帰りに出来立てをいただき一路水巻へ。2日間好天に恵まれ楽しい旅でした。

次回は熊本の植木温泉に行き、柳川の川下りや鰻を食べてこようかなと思っています。翌日は大原松露饅頭の工場に立ち寄る。幸姫酒造の酒蔵見学だ。少し早めに宿に着き、ゆっくりと温泉に入り楽しみにしている宴会が始まる。歓談で盛り上がるが時間切れ。翌日は大原松露饅頭の工場に立ち寄る。全て商品が手作りでびっくり、帰りに出来立てをいただき一路水巻へ。2日間好天に恵まれ楽しい旅でした。

平成25年10月12日に、2年振りとなる同期会を、神戸の北野異人館街のすぐ近くにあるホテル北野プラザ六甲荘で開催しました。今回の同期会には、九州、関西、関東安庁の巡視船が尖閣列島に向かって出航して行く様を見るとピーンと張り詰めた緊張感が走る。西表島に渡りマンガローブクルーズを堪能。水牛車に揺られて由布島観光。夕食は八重山の踊りを見ながら琉球料理をいただく。3日目の朝、御神崎灯台や唐人墓に立ち寄り石垣島を後にする。あつと言った間に3日間でした。

今年の春、昨年に続き嬉野温泉の湯があり入り観光ルートを変更しての旅に出発。高速道をビールを飲みながら南下、最初に寄ったのはヤクルト工場の見学。昼食をすませた後、静かな山間にある孔子を祀った多久聖廟をガイドの説明を聞きながら見学。次は楽しみにしている

66期だより

(幹事 古賀正博 記)

神戸で同期会を開催

平成25年10月12日に、2年振りとなる同期会を、神戸の北野異人館街のすぐ近くにあるホテル北野プラザ六甲荘で開催しました。今回の同期会には、九州、関西、関東から29名の参加があり、北九州から参加したメンバーの中には、他のメンバーとマイクロバスに乗って駆け付けたメンバーもおりました。同期会終了後、神戸に宿泊したメンバーは、次の日の朝からマイクロバスに同乗して神戸市内を観光しました。まずは、ホテル近くの北野異人館街をバスに乗って遊覧した後、諏訪山に登って高台から神戸市街を展望し、「人と防災未来センター」および「菊正宗酒造記念館」を訪問しました。特に、「人と防災未来センター」は、阪神・淡路大震災の経験を将来に生かすために設けられた施設で、震災発生時の状況を体験できる大迫力の展示物が目を引きました。同期会に参加していた柴田高博

君にとって、神戸は阪神・淡路大震災発生時に救援と復興の陣頭指揮を執った思い出深い土地であり、彼から当時の体験をいろいろと聞くことができました。

今回の同期会には、神戸市内と近郊に住む初めて同期会に参加したメンバーもあり、卒業以来の顔合わせとなりました。次の同期会は、同期生のほとんどが、卒業年次と同じ数字である66歳となる平成27年に九州で開催する予定です。

北九州からマイクロバスで参加した筆者を含むメンバーは、帰路、鳥取砂丘、大山、足立美術館、平成の大遷宮が終わつたばかりの出雲大社など、山陰の観光スポットをいろいろと巡った後、無事北九州に帰還しました。

私は69期生は還暦も過ぎました。すっかりリタイアした方もあるが、まだ社会活動に勤しまれている方もおいでになります。

還暦記念にと東筑高校玄関前に豊後梅を植樹贈呈致しましたところ、この2月末に花を咲かせ、5月からは葉が生い茂り、しっかりと根付いた様に見えました。青い梅の実の収穫を期待した向こうもあつたようですが、こればかりは数年先の楽しみと言うことでした。

【豊後梅】

69期だより

(幹事 加美久幸 記)

私はですが熊本大学医学部に進学し、同期会の北九州支部を御世話していることから、北九州市やその周辺出身の熊本大学医学部在学生に声をかけて、彼らとの懇親会を熊本市で昨年から催しています。現在のところ医学部全6学年で36名の北九州出身者が在籍していて、うち半数近くが東筑高校出身です。男女半々ですが、会食での様子を見ていると女性が活発で、男性がおとなしくみえます。高校を訪れた際に垣間見る女子の快活さと良く似た印象を受けるの



卒業以来はじめての顔も



2月に花をつけました

です。高校で大きな声で挨拶し、運動部のジャージを着て構内を闊歩しているのは女子で、会食で表情豊かでスピーチの内容が面白いのも彼女達です。男子はどこかもの静かなのです。

フェミニストを自称する私ではあります。元男子の端くれとして面白い気がします。高進学率を支えているのは女子である事は間違ありませんが、男子が目立たないのはどうした事でしょうか。往時の公立高校は緩い規律のもとに自由豪放さを謳っていましたが、現在ではそうした事も許されずに受験勉強一筋で高校生活を過ごすからでしょうか。否、男女条件は同じはずです。はて?

高校と違い大学や社会では自分の考えを明確な言語で表現する事を求められます。地方高校では良い子で済ませても構いませんが、世界では通用しないのではないか。高校生は植えられたばかりの梅の木と同じでキャンパスに場所を得ているだけです。学生諸君、玄関前に梅の木を見ることがあつたら、立派に結実した自らの姿に思いを馳せて下さい。

(末吉信之 記)

71期だより

埴生先生の授業と来年の
還暦記念事業予告

①埴生先生の古典の授業と71期懇親会
今年で8回目と、恒例となりました埴生先生の古典の授業。今回は源実朝の金

源実朝の波乱万丈の生涯、藤原定家の槐和歌集が題材でした。講演していただきましたテーマが本田君の提案で昨年から決まっていました。

レット作成の三橋さん、事務局長の林君、大変お世話になりました。ありがとうございました。

②71期還暦記念事業の予告

7月23日に話し合いをしました。その結果次のことを概略決定しました。

1 平成27年に還暦記念事業を行います。

A 2泊3日の旅行を10月10～12日か11月21～23日をめどに行う予定です。全行程の参加でなくとも、どちらかの1泊でも、懇親会のみの参加でも大歓迎します。

B 日帰りのバスハイクも別途企画します。

毎年授業をして下さり、懇親会にもご参加の埴生先生どうも有難うございました。

今年の幹事役の石丸君と栗原さん、パンフ

に移して71期の懇親会を開催しました。

71期の総会も開催し、来年に予定している

還暦記念事業について提案を行いました。

毎年授業をして下さり、懇親会にもご参

加の埴生先生どうも有難うございました。

事情により宿泊等が無理な方や、日程的に難しい方を対象とし母校見学も予定します。

退任のご挨拶

事務局

豊倉 辰志 (57期)

会員の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。私こと、このたび9月をもって事務局を退任いたすことになりました。平成16年3月より今日まで、東筑同期生相互の連絡を密とするために、現在の71期のホームページ以外に新たにフェイスブックをすでに立ちあげていますので、登録をお願いします。他にもライン、メーリングリスト等の利用を考えています。

今後、我々71期生が行う大きなイベントは、来年の還暦事業が最大、ひょっとして最後になるかもしれません。

皆さんお忙しいことは思いますが、日程調整と積極的な参加を心からお願いします。

現在名簿の整理中です。ご本人や友人のメールアドレス、携帯の番号などを事務局长あてに今一度お知らせいただけたと幸いです。

紙面をおかりしてお礼かたがたご挨拶申しあげます。
後任の藤澤泰尊(65期)君をご支援くださいますよう。よろしくお願ひいたします。

です。個人情報の管理には十分注意いたします。

林君の連絡先

FAX 093-602-3255

Email acm.orio@circus.ocn.ne.jp

(会長 三宅正輝 記)



ウェブサイト開設

これからの東筑会の情報は
ウェブサイトでチェック!!



東筑会情報満載!!

- ・必要な情報はプリントアウトで即保管。
- ・懐かしい校歌や一本松や正門を掲載。
- ・場所もスグに確認できる、お問い合わせアクセス。
- ・同窓会期リンク集を掲載。

www.tochikukai.jp
スリーダブリュー トウチクカイ ジェイピー

同窓会ホームページ開設

ご連絡ください

- ☆住居表示に変更のあった方
☆改姓・転居された方

新住所を事務局へ

*個人情報保護の観点から会員個人情報は適切に管理し、
正確性・安全性の確保に努めます。

事務局 Tel 093-603-6815 Fax 093-603-6820

E-mail tochiku_k@ybb.ne.jp

(担当 藤澤)

新任のご挨拶

事務局 藤澤 泰尊 (65期)

この度、ご勇退されました豊倉事務局員の後任としてお世話をさせていただくことになりました、65期の藤澤泰尊と申します。

これからも、同窓生4万人の大好きな東筑会事務局としてお役に立てられますよう、諸先輩方のご指導を仰ぎながらがんばっていきたいと思います。

前任者同様、役員・幹事の方をはじめ各地域東筑会ならびに会員皆様の温かいご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

編集後記

おかげをもちまして、会報35号が発刊の運びとなりました。会員の皆様方のご協力、本当にありがとうございました。

さて今年の夏は、高校野球福岡県大会に釘付けとなりました。それは母校東筑高校の活躍ばかりではありません。県大会ペス

ト8に、八幡東西区の「九州国際大学附属、自由ヶ丘、折尾愛真、北筑、東筑」の5校もの学校が勝ち抜いてきたからです。この折尾地区からは3校も勝ち残りました。これは、福岡県の高校野球史で初めてのことではないでしょうか。

さて、母校東筑は、優勝候補の東福岡高校に県大会一回戦で快勝。その後、惜しくも準決勝で敗れました。各試合における堂々たる戦いぶりは、「文武両道」「質実剛健」の精神を確かに受け継いでいると感じさせるものでした。さわやかな「東筑野球」をありがとうございました。

ところで、東筑高校では現在、グローバル教育に入れていることです。文部科学省指定のSSH(スーパーサイエンスハイスクール)をはじめ、シンガポールでの海外研修、イングリッシュキャンプの他、「海外ジニアス研修」があげられます。

これは、本会紙のトピックス記事にあるように、世界を代表する先進的な研究機関、大学、企業での体験型研修の実施です。本年が第一回だそうですが、アメリカのマサチューセッツ工科大学、ハーバード大学、マイクロソフト本社での特別講義・講演、研修会、現地高校訪問等、日本の将来を担う若者として、東筑の卒業生が世界に羽ばたいてくれることでしょう。

私的なことですが、ここ数年来、台湾、インドネシア、カンボジア、ベトナムを旅する機会がありました。観光地ではない地域も訪問しましたが、共通して感じたのは、日本への好感度、親密度の高さでした。日本の自然や文化、安心安全の社会、日本車をはじめとする先端工業技術、学校建設や水道等の普及をはじめとする数々の経済支援、世界遺産の修復事業等です。日本の国際貢献は着実に高い評価を受けてきていました。訪問地では、若者からもよく片言の日本語でフレンドリーに話しかけられたものでした。日本への興味・関心やあこがれというのを感じました。

お知らせ

一般財団法人東筑奨学会の事務局移転について

平成26年6月1日から学校事務室より東筑会館(東筑会事務局内)に移転致しました。

電話 093-603-6815 住所 北九州市八幡西区 則松2-2-24

実は、「ASEAN諸国の世界の国々に対する意識調査」を見ると、日本は、「最も信頼できる国」の第一位です。(ちなみに第二位はアメリカ、第三位は英國)ほとんどの国が、日本を「大好き」ないし「好き」と答えています。もっと自國に自信と誇りを持たなくては::と思つたものです。それだけの価値が日本にはあります。母校東筑も、まだ知られていない更なる大きな価値があることでしょう。東筑同窓会がもつと元気が出る話題を、今後とも探つてみたいものです。

本誌の発刊に当たり、会員の皆様方、今回も多数の投稿をいただき、心より感謝申上げます。「各期便り」の投稿も年々増えてきています。各地区、各期からの投稿、母校のトピックスに至るまで、大変活発な東筑会活動を感じています。

最後になりましたが、本誌の編集では、会報委員の青野元昭(70期)、貞末敏郎(57期)、柳本昭子(76期)、石井紀子(81期)の4名で協力して行つきました。皆様の大きな協力を得て、本日ここに発刊する運びとなりました。今後とも、会員の皆様方のご支援・ご協力をいただきながら、よりよい会報作りに一層努力していく所存です。深く御礼申し上げ、編集後記といたします。ありがとうございました。

会報委員長 青野元昭(70期)